

2018年 11月 22日

鹿児島大学病院 消化器内科 で

神経内分泌腫瘍の検査を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

神経内分泌腫瘍（NET）に対するオクトレオスキャンを用いたソマトスタチン受容体シンチグラフィ（SRS）の有用性に関する研究

【研究機関】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 消化器センター 消化器内科

講師 橋元慎一

【研究の目的】

神経内分泌腫瘍の患者数が国内で増えていることが報告されています。しかし、これらの疾患患者の予後や合併症について国内で疫学的に報告したものは数少ないです。診断に関しては、近年、本邦でソマトスタチンシンチグラフィ（SRS）が保険適応となりました。海外では以前より行われている検査であり、非常に有用であると報告されています。しかし、日本国内では保険適

応となって間もないこともあり、既存の検査との比較を含め、有用性や安全性の十分な検討がされていません。

この研究は、神経内分泌腫瘍の患者さんに関して鹿児島が多施設から多数例を集め画像診断による解析を行うことにより、腫瘍の局在と進行度、患者の予後や合併症を正確に把握し、さらにその後の治療に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

神経内分泌腫瘍に対してソマトスタチンシンチグラフィ（SRS）の検査を受けた患者さんの疾患名、性別、年齢、治療内容、治療後の効果判定、SRS集積部位のスコア化、腫瘍の悪性度別の一致率、治療における副作用、予後、合併症などについて、多施設・多数症例のデータを集積し、成績を確認します。カルテより経過記録や血液検査の結果などを拾い上げますが、個人を特定できる情報は収集しません。

【対象となる患者さん】

2016年1月1日から2026年12月31日までに、鹿児島大学病院消化器内科で神経内分泌腫瘍と診断され、ソマトスタチンシンチグラフィの検査を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

疾患名、性別、年齢、治療内容、治療後の効果判定、ソマトスタチンシンチグラフィ集積部位のスコア化、腫瘍の悪性度別の一致率、治療における副作用、予後、合併症などについての情報を利用します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しま

せん。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し実施します。企業等の第三者機関から資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 消化器センター

講師 橋元 慎一

電話 099-275-5236 FAX 099-264-3504